



- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

学校保健給食委員会・食物アレルギー対策委員会

1月23日（木）、学校医の遠藤先生、五月女先生をはじめ、PTAの役員・体育委員・厚生委員・学級委員の委員長、副委員長の皆様にご参加いただき、令和6年度の委員会を開催しました。学校からは、養護教諭（保健主事）・食育主任・栄養士・体育主任・安全主任が参加し、それぞれの立場から本校の実態について説明をしました。その後、保健主事が「どう守る？デジタルネイティブの子どもたちの脳」と題し、全体に話をしました。学校医の先生方からは、学校現場では欠かすことのできない専門的なお話をいただくことができました。また、PTAの方々からも、建設的なご意見を多数いただきまして、とても有意義な情報交換の機会となりました。



授業参観・学級懇談会



1月29日（水）、今年度最後となる授業参観・学級懇談会を実施しました。6年生は、体育館で保護者への感謝の気持ちと中学進学に向けた決意を一人一人発表しました。他の学年の児童は、教室で主に算数の授業を真剣に受けていました。学級懇談会では、児童の成長の様子や、進級に向けての心構え等について担任が話をし、意見交換や情報の共有を行いました。

第3回錦小地域協議会

2月7日（金）、17時30分から会議室で行いました。協議内容は、今年度の活動報告・決算報告と次年度の活動計画・予算案の他に、保護者や地域の皆様にもご協力いただきました学校評価アンケートの結果の報告と今後の取組についての説明や、交通安全標語の入賞作品の報告等でした。委員の皆様からは、毎回建設的なご意見をいただきまして、今後の学校経営の大きな力となっております。今年度も大変お世話になりました。



表彰朝会

2月5日

（水）、地域協議会が募集した交通安全標語の表彰を行いました。会長賞1名、校長賞1名、優秀賞4名、優良賞17名が受賞しました。6名の作品は、東門と西門にそれぞれ掲示されます。標語を通して、交通安全の意識を一層高めてほしいと思います。

賞	作 品	クラス	氏 名
会長賞	あわてない しんごうてんめつ ひとやすみ	3-2	加藤 将幸
校長賞	ヘルメット 命を守る 君のため	4-2	英 彩葉
優秀賞	きをつけて かどからひとが でてくるよ	1-2	飯島 華琉
	あんぜんは 目を見ておたがい ゆずりあい	2-1	飯島 優月
	「だいじょうぶ」 そのゆだんが 事故のもと	5-2	鈴木 佑佳
	早めのライト 自分の未来も 照らしてる	6-1	成廣 心菜

感謝の会

2月12日(水)、感謝の会を行いました。学校生活が楽しく充実した活動ができるよう、いつも児童を見守って下さる地域の方々に集まっていただきました。児童から、お一人お一人に感謝の気持ちを込めたプレゼントをお渡し、全校児童で歌を歌いました。皆様、今年度も大変お世話になりました。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。



かたりいずの皆様による読み語り

1月29日(水)、6回目の読み語りを行いました。1～2年生は動画、3～6年生は読み語りでした。かたりいずの皆様は、各クラスでの活動を終わると、童話館に集まり振り返りや情報交換を行っています。本校児童は読書への関心が高く、本の貸出数も非常に多いです。かたりいずの皆様のこうした取組が大きく影響していると思われます。改めて感謝申し上げます。



『雨だれ石を穿つ』～時間を大切に～

時間の大切さを示唆する言葉に「時は金なり」があります。これは、アメリカの政治家ベンジャミン・フランクリンの言葉『Time is money』の日本語訳です。本来は「機会損失」という意味も含まれており、悩んで立ち止まっている人を励ます際や、ビジネスシーンなどで使う機会の多い表現とも言われています。お金があれば、食べるもの、着るもの、また住むところも手に入れることができるので、お金はとても大切であることは分かります。そして、それと同じくらい時間も大切であるということを示しています。例えば、私たち人間が生きられる時間を計算してみます。仮に、80歳まで生きられるとしたら、人間の一生は約70万時間となります。時間にするととても短く感じてしまいます。それだけ時間は大切であるということが改めて分かります。また、時間と言うと「3分間」をイメージする人が多いと思います。これは、「3分間」という時間が、日常生活の様々な場面で使用され、無意識に概念化され浸透してきたものと思われます。実際に、「歯磨き」「インスタント麺」「ボクシングの1ラウンド」「3分クッキング」「ウルトラマン」などがあります。歯磨きは、3分間するのが望ましいと言われていますが、実際に3分間するととても長く感じます。学校の授業時間は、3分間を15回重ねたものです。3分間は、1日に5時間の授業で75回分、6時間の授業で90回分になります。たったの3分ですが、積み重ねると大きな力になります。他にも、「わずかな時間も無駄にしてはいけない」という意味の「一寸の光陰軽んずべからず」、「時間や年月は人の都合に関わらず、刻々と過ぎていくものであるため、時間を無駄にしてはならない」という意味の「歳月人を待たず」、「わずかな時間がとても貴重である」という意味の「一刻千金」などの言葉があります。



また、ある寺院の門前に、『雨だれ、石を穿つ』と言う言葉が掲げられています。これは、「雨のしずくであっても、長い間には、硬い石にも穴をあけてしまう」という意味です。こつこつ努力を重ねれば、成功につながるという教えです。英語にも、ゆっくり着実にやれば、必ず競争に勝つという意味の「Slow and steady wins the race.」という表現があります。イソップ寓話「うさぎとかめ」に関係があるとされていますが、日本語の「急がば回れ」というような使い方もされています。

「時間を大切にする」「ゆっくり確実に」「こつこつ努力を重ねる」などは、勉強や仕事、趣味など、すべての事にあてはまるとも重要な生き方や考え方の一つだと思います。



本校のHPは日々更新しています。
最新情報はHPでご確認ください。



にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ